

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7905 経営情報システム論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	50
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	E201(メディア室1)				
代表教員	小林 稔				
担当教員	小林 稔				
テーマと到達目標	企業経営で必要とされる経営情報の分析法をコンピュータを利用した実習を通して学ぶ。				
概要	経済のグローバル化が進展する現在、企業経営の再構築が不可欠なものになっている。その中で経営のデジタル化、AI（人工知能）の活用は最も重要な課題の一つである。特に、近年は多様なデータを利活用したデータ駆動型の経営が目ざされている。本授業では、経営で必要とされる各種のデータの利活用に関して、情報処理の理論とデータ分析の基礎をコンピュータ実習を通して学習する。具体的には表計算ソフトウェア、統計パッケージR、VBAを使用して統計学の基礎とデータサイエンスの経営への応用について学習する。コンピュータによる実習を主とするため、基本的なキーボード操作などは各自練習しておくこと。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	エクセルと統計パッケージRおよびRStudioの基本的な操作方法について学習する			小林稔	対面授業
第2回	データ、平均、中央値、ヒストグラム、移動平均について実習を通して学ぶ			小林稔	対面授業
第3回	データ、平均、中央値、ヒストグラム、移動平均について実習を通して学ぶ			小林稔	対面授業
第4回	標準偏差、正規分布、偏差値についてコンピュータを用いた実習を通して学ぶ			小林稔	対面授業
第5回	標準偏差、正規分布、偏差値についてコンピュータを用いた実習を通して学ぶ			小林稔	対面授業
第6回	散布図、相関係数などについて学ぶ			小林稔	対面授業
第7回	確率、確率変数、確率分布、期待値などについて学ぶ			小林稔	対面授業
第8回	確率、確率変数、確率分布、期待値などについて学ぶ			小林稔	対面授業
第9回	大数の法則と中心極限定理などについて学ぶ			小林稔	対面授業
第10回	推定などについて学ぶ			小林稔	対面授業
第11回	仮説検定などについて学ぶ			小林稔	対面授業
第12回	回帰分析について学ぶ。			小林稔	対面授業
第13回	重回帰分析、決定係数、t値など重回帰分析の評価について学ぶ			小林稔	対面授業
第14回	線形計画法の基礎を学ぶ			小林稔	対面授業
第15回	損益分岐点分析について学ぶ			小林稔	対面授業
成績評価の基準	許可科目です。初回の授業に必ず出席すること。 出席および課題を重視。毎回の授業で指示する課題の提出状況および内容(50点)と学期末レポート(50点)を評価して判断する。授業の中では、Microsoft Excel、統計パッケージRなどのソフトウェアを利用するのでコンピュータの基本的な操作が出来ることが望ましい。				
履修にあたっての留意事項	許可科目です。初回の授業に必ず出席すること。 PCの実習を中心とした授業です。必ず出席して課題の提出を行うこと。 オンライン授業に移行した場合は、資料配信型を基本とするが、動画配信型、同時双方向型も必要に応じて実施する予定である。動画配信型はYouTube、同時双方向型はZoomを使用する。 その他、Microsoft Officeが必要ですが、本学にて無償でインストール可能です。また、統計パッケージRおよびRStudioはオープンソースであり無償でインストールできます。授業中に解説します。				

オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	Microsoft Office が必要ですが、本学にて無償でインストール可能です。 また、統計パッケージRおよびRStudioはオープンソースであり無償でインストールできます。授業中に解説します。		
教科書	必要な場合は、授業中に指示する。	教科書(ISBN)	必要な場合は、授業中に指示する。
参考文献	必要な場合は、授業中に指示する。	参考文献(ISBN)	必要な場合は、授業中に指示する。